

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します!

【わたらせ渓谷^{てつ}鐵道】 <http://www.watetsu.com/>

わたらせ渓谷^{てつ}鐵道は、群馬県桐生市と栃木県日光市を結ぶ「わたらせ渓谷線」を運営する鉄道事業者です。通称「わ鐵」。わたらせ渓谷線はその名のとおりに渡良瀬川上流の渓谷に沿って走ります。車内からの風景は絶景そのもの。特に初夏は爽やかな新緑、秋は美しい紅葉が堪能できます。今年6月、国際交流事業の一環で足尾銅山を見学する際に、わ鐵名物トロッコ列車



わ鐵が誇るトロッコ列車の雄姿です。

を利用していただきました。当日はわ鐵のマスコットキャラ「わっしー君」も出てきて、遠い南の島国から来た子どもたちが大喜びしました。わ鐵さん&わっしー君、あのときは本当にお世話になりました。ありがとうございました。

みなさんもぜひ「わ鐵」で自然を満喫する旅を楽しんでください。(文：秋山)



わっしー君を囲むミクロネシアの子どもたちです。

所要時間: 交流の家から車で約45分(本社:大間々駅まで) 経路: 桐生駅~間藤駅
TEL: 0277-73-2110(土日祝除く 9:00~17:00) 住所: 群馬県みどり市大間々町大間々1603-1

リレーcolumn すたっふの目

『私の目は二つあります』

文: 山崎 栄寿(さき・パパ)
【やまざき えいじゅ】



子どもたちの前では、キャンブネームは「パパ」。

インドア派の私が所に来て早3年。3年目なので大きな顔をしてはいますが、私が所を見る目はたぶん、ちょっと他の職員と違ってます。

一つめの目は健康教育。前職で10年以上がんばってました。ここではなかなか活かせないあって隙をうかがっていたら、今年度は食育を進める運びとなりました。食堂のブタさんポスターやテーブルクイズ、つどいのお話しなど楽しいネタ満載でお待ちしています。

二つめの目は車。車好きです。見るのもいじるのも大好き。職員やボランティアの車を修理やドレスアップするのが私のボランティアです。それになんといっても夏の繁忙期、駐車場にバスが並んでいると思わず見とれて出勤時刻に遅れそうになります。自動車会社の社員研修があるものなら駐車場に釘付けです。

春には桜が最高だし、研修棟は建築物としておしゃれだし、いろいろな目で来てください。高所恐怖症なのにツリーイングの指導をしている山崎でした。

つぶやき

赤城おろしを真正面に受けて、君の瞳を見つめる。北風と太陽。心のマントを取り払い、自分を見つめよう。(新井)

密かに狙っていたヒマラヤスギの巨大松ぼっくり、落ちる前に上半分が風ではがれ落ちていました。残念!(根岸)

今年の冬も「感染症」が流行るようです。手洗い、うがい・栄養補給は充分なのですが...。(鈴木)

限界ならば超えればいいよ。現実ならば帰れば(変えれば)いいよ。出過ぎた杭は打たれるけれど、出過ぎてしまえば打たれないかも。(小野里)

突然の入院騒ぎ。復帰したら、いつのまにか浅間山は冠雪、所は紅葉もおわりで初冬の趣でした。(島崎)

日々新聞と格闘中。日本語は難しい。頭も心も磨かれます。謝謝!!(井上)

冬將軍到来! お肌の乾燥・静電気に要注意! うがい手洗い忘れずに*(神山)

また、ひとつ歳が増えてしまいますが、気持ちだけは若くありたいと思います。寒さにも負けず元気に明るく(阿佐美)

仕事をしていると、日に日につま先が冷た痛さを感じます。冬です。(廣澤)

こたつを出してしまったら最後。連泊中です。こたつで寝ると風邪をひきやすいので皆さん、注意です!!(薫)

また今年のクリスマスイブ当直ですよ。ええ、予定無いからいいんですけどね!(秋山)

ようやく月の1/4は宿泊するこの仕事にも慣れてきました。ご褒美の朝の景色と澄んだ空気が最高です。(小川)

赤城大沼が凍ったら、氷上にテントを張って、たき火炊いて、ワカサギ釣りにませんか?(内田)

スマホが使いづらい...。電話もメールも携帯より明らかに操作が多い...。なんでみんなスマホに移りしちゃうんだろ...。(山崎)

体調崩したり、ちょっとつまづいたり、年令を感じてます。でも少しは落ち着いて行動するようになる?(桜井)

部屋が寒いんです(笑)。我が家に人が来ると暖まるので、遊びに来て。(高瀬)

最近「ひもかわうどん」がおいしく感じます。寒さのペースが速い。(星野)

空っ風が吹く 赤城から...「今年の冬も寒そうですね。今冬はワカサギ釣りが解禁になりますよ。」(坂田)

メ切に追われる+「年末」という1年に1度のメ切にも追われる12月。またか、でもあり、これが12月、でもあり。(柴崎)

寒くなりましたので風邪にご注意を。体に良いものを食べましょう。(田村)

二度目の冬、前回は足を怪我して周りの方に迷惑をかけたので、今回は気をつけよう。(中屋)

寒さが厳しく、外に出るのが一歩引ける季節ですが、意外にも外作業があるものです。厚着すれば、すぐに汗をかくし、薄着だと寒いし、もう...

でも頑張ろう!!(佐藤)

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

12-1
2012
→2013



「ムササビも冬支度」

森の木々は葉を落とすころとしています。交流の家の薪ストーブにも火が入り、建物も人間もすっかり冬の装いになりました。赤城山の生き物たちは、今頃どこで、どんな冬支度をしているのかな? ?

次号は、
2月14日発行予定!

風のおと

火打石の火おこし体験

火打石って知っていますか?使ったことはありますか?

10月に体験の風をおこそう運動(1)の一環で行われた、「アウトドアチャレンジ(2)」というイベントのお手伝いに伺いました。そこで一番人気があったのが「原始火おこし」だったそうです。その話を聞いて、ふと思ったのです。江戸時代まで使っていた火打石を使って、火おこしてみたいと思っ

ています。左の写真の左側の石が火打石です。この石と、写真右側の火打金を打ちあわせて火花を飛ばし、その火花で火をおこすものです。また、



江戸時代は、この火花を切り火と呼び、厄除けとして使われたりもしました。

所長 桜井義雄英

- 1 子どもたちの健やかな成長にとって体験がいかに重要であるかを広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運を高める運動です。
- 2 ボーイスカウトなどの青少年教育団体が協力をし、身近な体験活動を普及するために、全国各地での体験イベントの実施や、体験のツールを作成しています。



子どもたちが原始火おこしをしています。

「所長のつぶやき」
「トピックス」更新中

体験の風を
おこそう



国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp/>

TEL:027-289-7224(9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

赤城 カラゴロリ

検索

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail:akagi@niye.go.jp

共に学び育つ社会を願い…小さな一歩からスタート

この事業は、以下のことを目的とし、9月22日～23日と、11月3日～4日の2回プログラムを実施しました。

健全な子ども障がいをもっている子と一緒に楽しく活動や遊びを通して、互いを尊重し、認め合うことができるようにする。そして、障がいをもっている子がそれぞれの地域で同年代の子と共に学び育つ機会が足かりをつくる。

1回目は、地元の群馬大学と連携をし、教育学部の学生を対象に障がい者理解や実践的な指導力を身につけるための研修を行いました。はじめに、講師の渡良瀬養護学校しらがね分校の忍田先生の講義「本人理解と障がい者理解」で知識を深めました。その後、講師の棚島先生による障がい児を想定したアイスブレイクやアウトドアプログラムを実際に体験し、自分たちでオリジナルのアクティビティも考案しました。研修後の感想からは、「考えたこと」と「実際にやること」ではずいぶん違いがある」という声が聞かれたり、説明することの難しさ、安全への配慮、全体の流れの大切さなどの気づきがあったことがわかりました。よい学びの場となったようです。

2回目は、8名の子どもたちと行いました。メインの活動は「お芋掘り&焼き芋」です。「とんとん広場」の協力をいただき、ざわざわ森の畑



2回目のプログラムの様子。手にはおおきなおいもが。=11月4日、とんとん広場ざわざわ森にて

9/22(土)～23(日)・11/3(土)～4(日)実施
【あかぎサンサンかがやきキャンプ】レポート

プログラム概要

【9/22～23スケジュール】1泊2日、参加者31名

	午前	午後	夜
1日目	・講義「本人理解と障がい者理解」	・演習「障がいのある子どもが体験するアウトドアプログラム」	・講義「アクティビティの組立て方」 ・たき火カフェ
2日目	・演習「企画したアクティビティ発表」 ・実習「ピザ&ポトフを作ってみよう」	ふりかえり	

【11/3～4スケジュール】各日帰り、参加者8名

	午前	午後
1日目	・講義「本人理解と障がい者理解」	・レクリエーション
2日目	・芋ほり ・焼き芋作り	・クラフトづくり

とフィールドをお借りし行いました。子どもたちは、ざわざわ森に到着すると、森の雰囲気を感じて、笑顔一杯、ワクワクウキウキの様子。長クツに履き替え、「お芋掘りスタート!」の声に続き、楽しくお芋掘りを行いました。その後、焼き芋にして食べたり、森で追いかけてこをしたり、周辺の探検、木登り、ハンモック、クラフト作りなどで楽しく時間を過ごしました。

事業を終えて…

今、ノーマライゼーション(注1)の理念が社会に浸透しはじめています。同じ地域や同年代の子同士が集まり、仲間として心と心のふれ合いや共通体験ができるような事業をこれからも続けていきたいと思いました。(文:廣澤)

注1 高齢者や障がい者などを施設に隔離せず、健康者と一緒に助け合いながら暮らしていくのが正常な社会のあり方であるとする考え方。(大辞泉より)



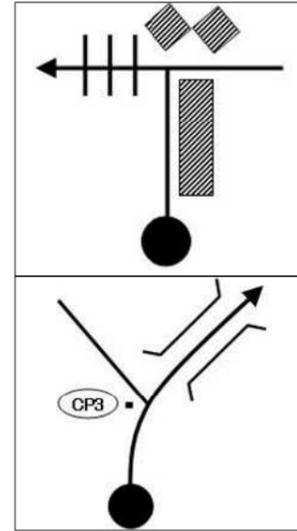
忍田先生の講義の様子=9月22日、交流の家音楽室にて

プログラム紹介!

【ウォークラリー】

ウォークラリーは、記号で簡略され、いくつにも分割された「コマ図」と呼ばれる地図をもとに、途中のチェックポイントの課題に答えながら、グループでわいわい相談しつつ進んでいく活動です。

ウォークラリーの最大特徴は「コマ図」で、スタートからゴールまでの道筋が数十個に分割されているのですが、1つ1つのコマの方向がバラバラなので、図の中の記号(建物や道)をうまく読み取らなければ道を間違ってしまう。そこでグループ内の活発な交流(話し合い)が生まれるわけです。また、コースには標準設定時間が設けられていて(ゴールするまで分かりません)、この時間より早くゴールしても、遅くゴールしても減点されず、タイム競争ではないので、体力よりも頭脳とチームワークが必要とされます。謎解きゲームのような面白さを味わいながら赤城の森を歩いてみませんか?(文:根岸)

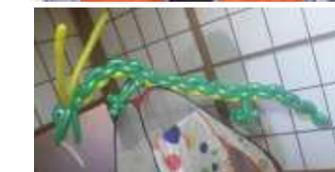


ウォークラリーの暗号である「コマ図」。自分が、矢印が進む方向を示しています。

国立赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

ネイチャーゲーム・星空観察・レクリエーション講師
角田 正基さん【マスク】



(写真上)爽やか好青年(?)の角田さん。(写真下)角田さん得意のパルーンアートで作った「龍」。

いつも笑顔で指導する角田さん。愛称は「マスク」。ネイチャーゲームの指導が主ですが、星空観察やレクリエーション、クラフトなど多彩な指導スキルを持っています。今年から研修指導員に登録していただきましたが、多くの指導依頼に応えてもらっています。

そんな角田さんも指導者になりたてのころは、自信を持って失敗ばかりだったそう。その失敗がバネとなり様々な講習会でスキルアップ。その甲斐あって今では多くの資格を持っています。「まずはケガがないように。そして知識だけでなく、体験を通して多くのことに気づいていただけるように」と角田さんは言います。柔らかな物腰から豊富な自然の知識が語られるのですが、細かな気遣いも彼ならではのようです。

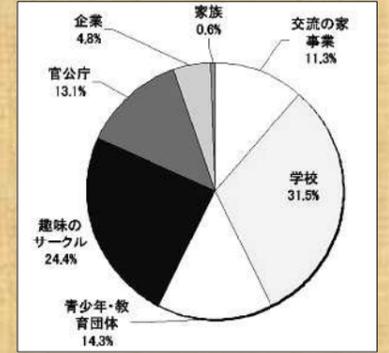
「赤城は来れば来るほど、新しい魅力に気づける場所です。一回だけでなく何度も来てください。」最後に付け加えてくれた一言も、角田さんの赤城への思いがあふれています。(文:高瀬)

利用のようす(10～11月)



10月の利用者数
...11,785人
96団体

11月の利用者数
...9,044人、
72団体



みなさんの声

利用にあたりよくある質問

Q.インターネットが使える環境はありますか?

第1～第8研修室はインターネット接続が可能です。ただし、貸出し用のパソコンはありませんので、ご用意

ください。使用方法は、事務室でLANケーブルを借り、お持ちのパソコンに接続します。IPアドレス自動取得(10BASE-T/100BASE-TX)接続となります(無線LANには対応していません)。なお、複数で使用される場合は、ハブを持参ください

Q.トランシーバーや熊鈴など備品を借りることはできますか?

できます。事前の申込は不要で、貸出料金もかかりません。ただし、トランシーバーや懐中電灯などは、電池(消耗品:単3電池3本)のご準備をお願いします。貸出し品目については、「利用ガイド」の9ページ「施設にある貸し出し備品」に記載してあります(ホームページでも確認できます。「利用ガイド」<http://akagi.niye.go.jp/riyou/12guide/riyoguide.pdf>)。ご参照ください。

アンケートより

プログラムの内容等、事前に打ち合わせができ、安心しました。

青少年教育施設として赤城の自然を活かしながら、より教育的効果が高まるよう、専門のスタッフがプログラム相談を実施させていただいております。

具体的には、あかぎ登山、野外炊事、キャンプファイヤーに加え、あかぎアドベンチャープログラムなどオリジナルプログラムも数多くあります。

プログラム立案にあたっては、子どもたちにどんな体験をさせたいか、雨が降った場合は活動が変更になるのか等がポイントになっていきます。

また、事前に施設見学などで来所される場合も、疑問点、お悩みの点など、遠慮なくお尋ね下さい。目的に沿ったプログラムを提案させて頂きたいと思っています。

交流の家では、利用日の2ヶ月前に「活動計画書」を提出して頂き、その内容に沿って、他団体との調整をさせて頂いております。お早目の提出にご協力をお願い致します。



これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問合せください⇒TEL027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)

1/6【早春デイキャンプ～新春につどい!お正月をみんなで祝おう】日帰り
日本の行事シリーズ、第1弾。みんなで季節を祝うイベントです。大勢で集う楽しさ、共同作業のにぎわいをみんなで体験しましょう。七草がゆ、おかきづくりなどを行います。

1/19～20【あかぎアドベンチャープログラム(AAP)体験会】1泊2日
指導者の方にAAPを知ってもらうためのプログラムです。

2/3【早春デイキャンプ～節分につどい!みんなで春をむかえよう】日帰り
日本の行事シリーズ第2弾。節分にちなんだ地域の食や文化に触れます。あかぎ汁や、きなこ飴を作ったり、「ひいらぎいわし」で厄払いをします。

1/26～27【親子天文ツアー】1泊2日
ぐんま天文台を訪ね、親子で星の世界に親しむ。

2/9～10【ミニバスケットあかぎカップ】1泊2日
群馬県内外の小学生ミニバスケットボールチームを対象にした、交流試合です。

3/2～3【中学生春季野球大会】1泊2日
群馬県内外の中学生野球部を対象にした、交流試合です。

3/3【早春デイキャンプ～ひなまつりにつどい!おあきなあれ!ひなまつりパーティー】日帰り
日本の行事シリーズ第3弾。太巻き寿司づくり、餅つきなどを楽しみます。みんなで子どもたちの成長を願いましょう。

3/9～10【中学生ソフトボール大会】1泊2日
群馬県内外の中学生ソフトボール部を対象にした、交流試合です。

